

1 沿革

- 2010. 7 前橋市美術館基本構想策定
- 2012. 7 芸術文化施設のあり方に関する提言
- 2019. 9 前橋文化推進会議
- 2013.10 運営評議会設置
- 2013.10 アーツ前橋グランドオープン
- 2018.10 開館5周年
- 2021. 3 作品紛失調査委員会 調査報告書発表
- 2022. 3 あり方検討委員会 提言書提出
- 2023. 5 南條特別館長以下新体制発足
- 2023.10 開館10周年

2 根拠条例等

(1) 前橋市文化振興条例

本市の文化振興に関する施策を総合的かつ計画的に実施するため「前橋市文化振興基本方針」を定めており、その中に文化事業の拠点となる文化施設に「アーツ前橋」が位置づけられている。

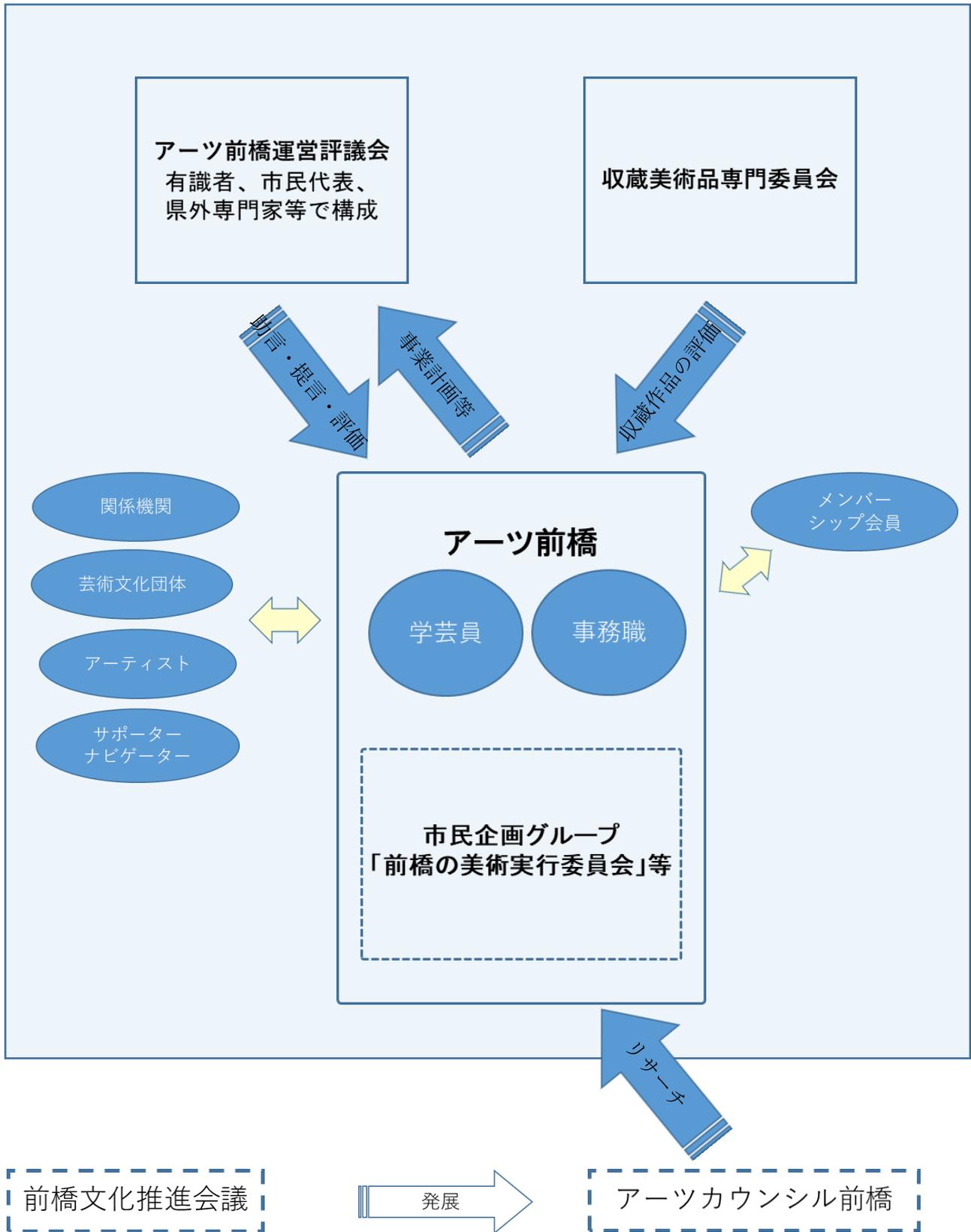
(2) アーツ前橋の設置及び管理に関する条例

本条例では、美術を中心とした多様な表現活動を広く市民に紹介し、芸術文化を通じた交流の場を提供するとともに、質の高い芸術文化事業の運営を市民参画により実現し、もって未来へ向けた創造と魅力あるまちづくりを市民とともに推進するため、本市にアーツ前橋を設置することとしている。

3 アーツ前橋の運営体制

3つの活動コンセプト

1 創造的であること 2 みんな共有すること 3 対話的であること



4 アーツ前橋の事業概要

(1) 美術品・収蔵管理事業

作品の収蔵管理は、博物館・美術館の根底をなす事業であり、アーツ前橋が収蔵する作品・資料をしっかりと管理し、調査研究・展示・教育普及へと繋げるとともに、作品を後世へと繋いでいく。

(2) アーツ前橋展覧会事業

当館が収蔵した作品や資料並びに情報等を市民や社会共有の財産として還元するとともに、美術館の基本的な考え方に基づいて他から作品を借用し、ある一定のテーマで展覧会を開催する。

(3) アーツ前橋地域アートプロジェクト事業

開館前から、アーツ前橋の施設内に留まらず、地域と連携した事業や、国内外のアーティストによる滞在制作などを実施する。

(4) アーツ前橋教育普及事業（ボランティアスタッフの研修など含む）

市民が芸術文化に触れ合う機会の創出、市民参画による芸術文化の普及、学校等と連携したガイドツアーやアウトリーチ事業の実施による幅広い年代へのアプローチなどを行う。

(5) アーツ前橋管理運営事業

館内の設備機器の保守管理のほか、受付・監視業務、警備業務、広報や運営評議会などの運営に関する事業を実施する。

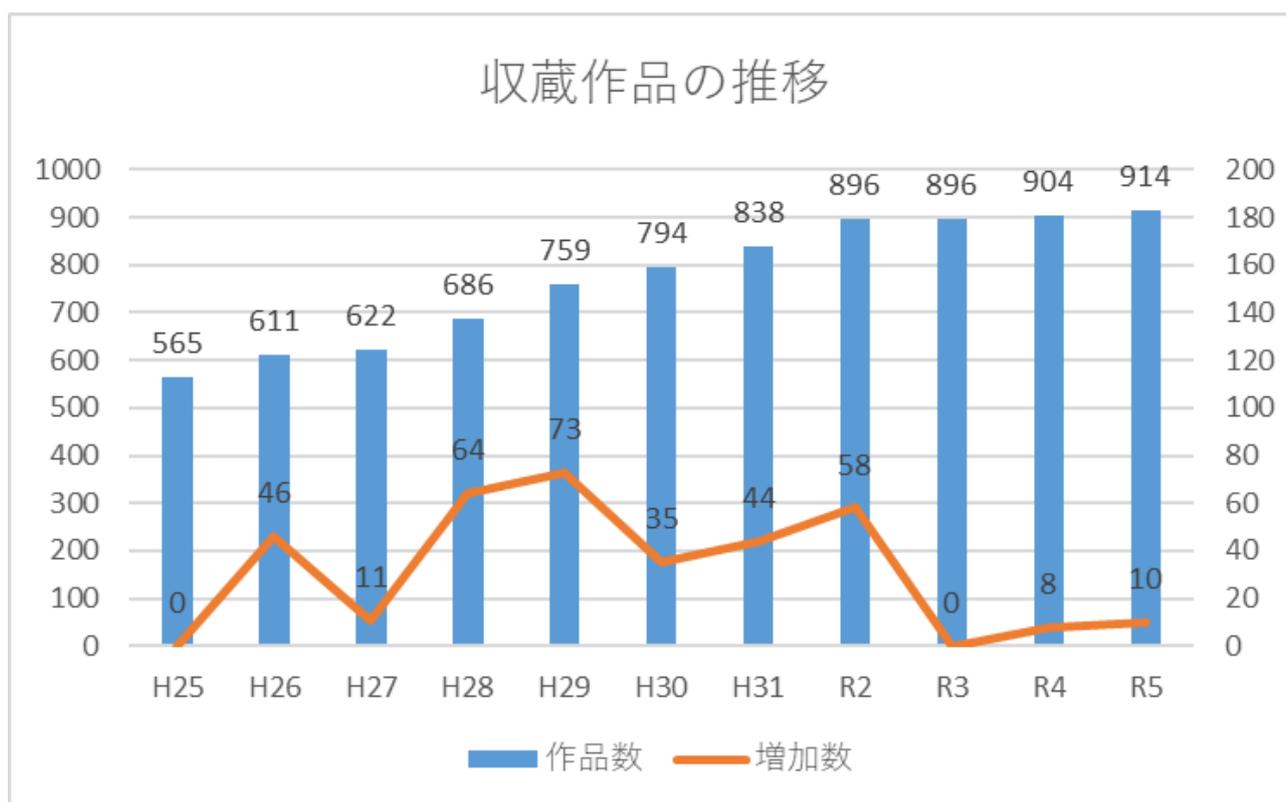
5 収蔵作品数の推移

単位：点

H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
565	611	622	686	759	794	838	896	896	904	914
前年比	+46	+11	+64	+73	+35	+44	+58	±0	+8	+10

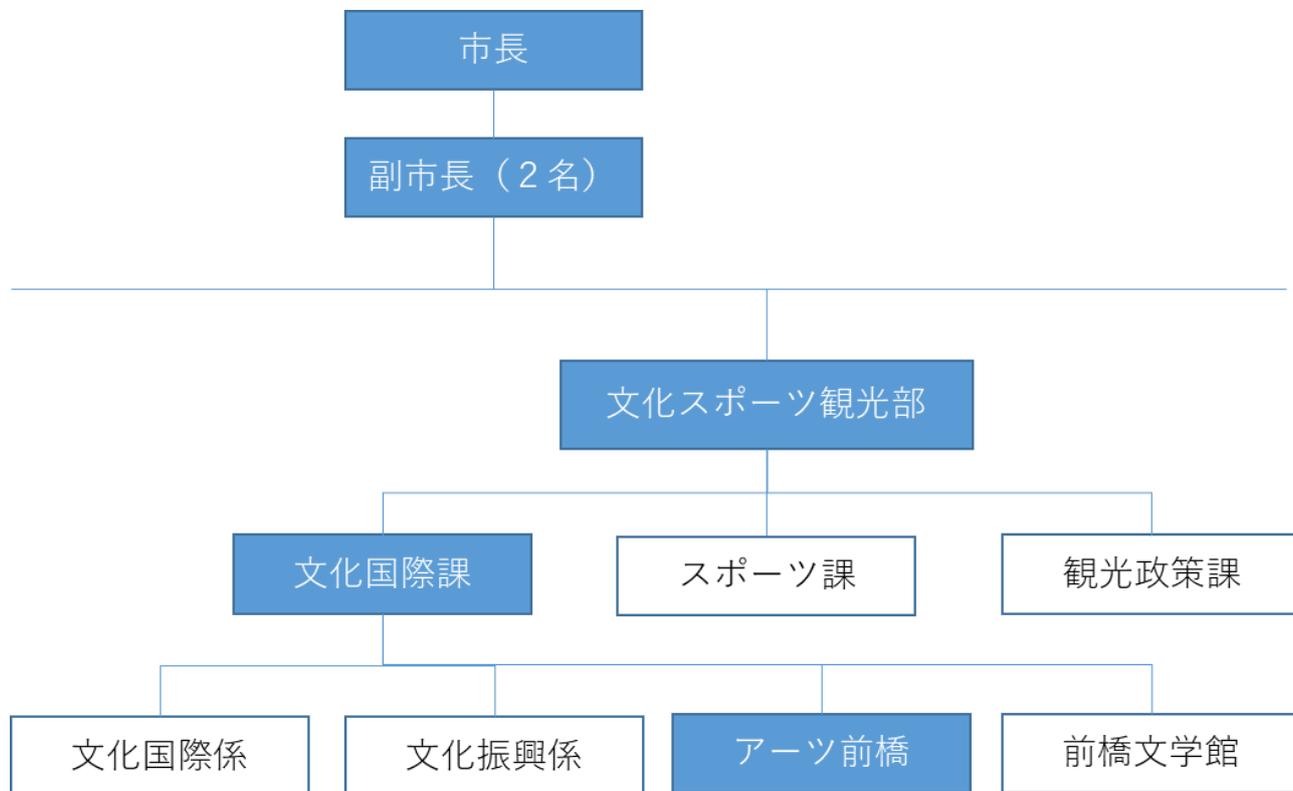
【アーツ前橋の収集方針】

- ①地域ゆかりの作家の作品を中心にした収集
- ②美術館の諸活動に関連した作品の収集
- ③アートの創造力によって地域に貢献できる作品の収集



6 組織機構図

アーツ前橋は、教育委員会ではなく市長部局の文化スポーツ観光部文化国際課の一つの係として位置づけられている。



令和5年度

特別館長 1

館長 1 (学芸)

副館長 1 (事務)

事務 5 (正規 4、嘱託 1)

学芸 5 (任期付正規 2、委託 3)

↓

令和6年度

特別館長 1

館長 1 (学芸)

副館長 1 (事務)

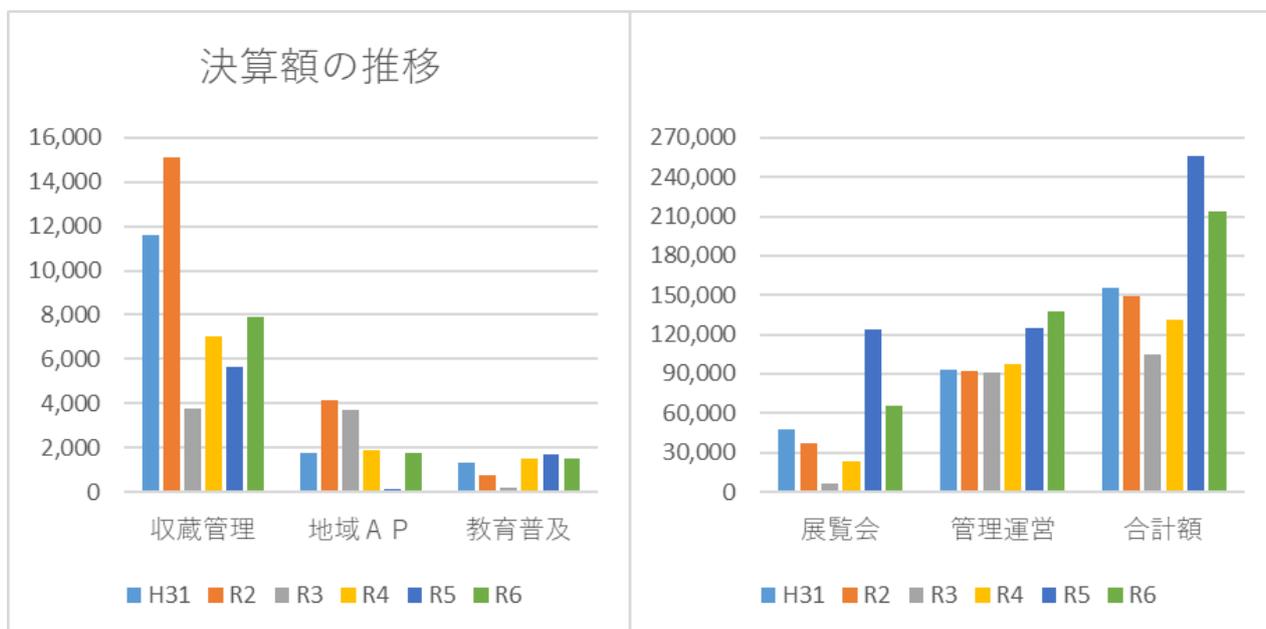
事務 5 (正規 4、嘱託 1)

学芸 6 (任期付正規 2、準常勤 2、委託 2)

7 直近5年度の決算額の推移

単位：千円

	H31	R2	R3	R4	R5（見込）	R6（予算）
収蔵管理	11,615	15,139	3,777	7,008	5,633	7,918
展覧会	47,756	36,951	5,841	23,463	124,203	65,071
地域A P	1,743	4,118	3,674	1,866	101	1,781
教育普及	1,286	741	184	1,477	1,703	1,500
管理運営	92,893	92,199	91,511	97,441	124,924	137,825
合計額	155,293	149,148	104,987	131,255	256,564	214,095

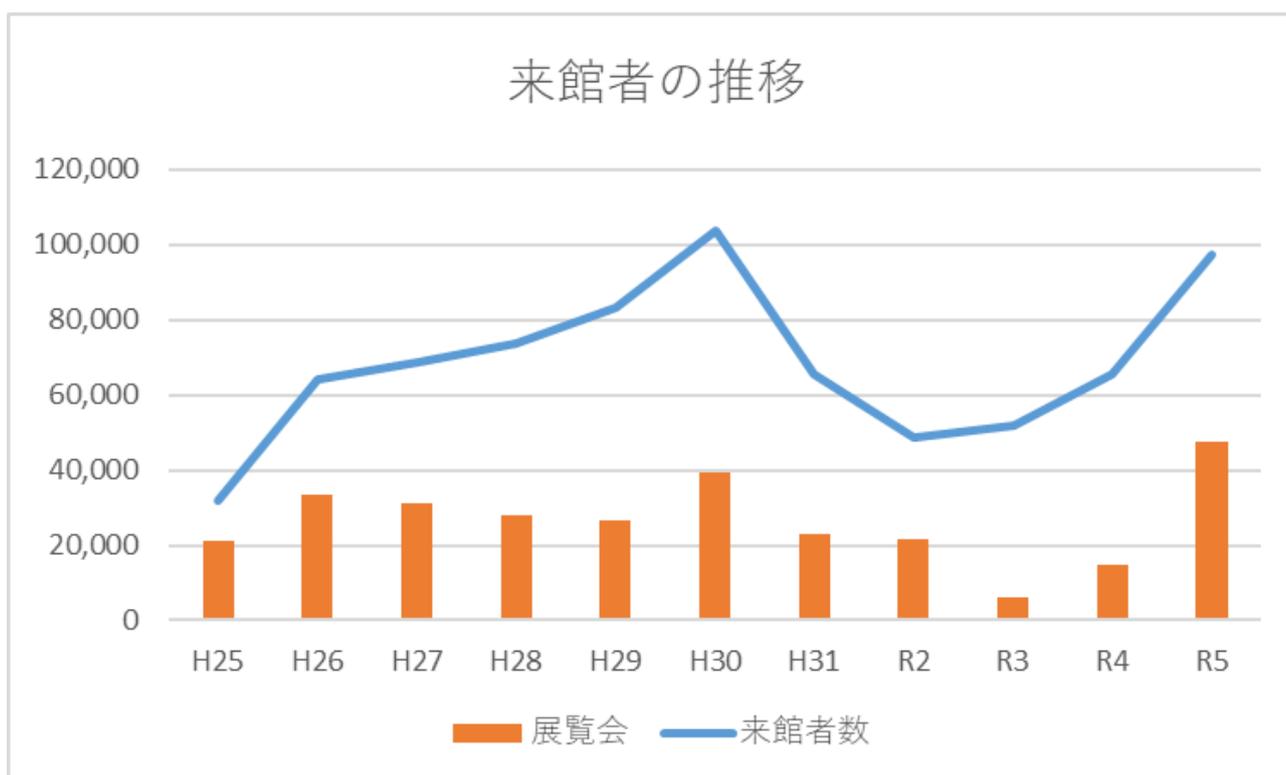


8 来館者の推移

単位：人

	H25	H26	H27	H28	H29	H30
総来館者数	31,661	64,154	68,784	73,669	83,121	103,665
うち展覧会 来場者数	21,169	33,527	31,376	27,867	26,522	39,179

	H31	R2	R3	R4	R5(2月まで)
総来館者数	65,377	48,594	51,952	65,730	97,438
うち展覧会 来場者数	22,834	21,419	6,237	14,580	47,689



9 展覧会総括表

展覧会名称	実施方法	会期	日数	来場者数	平均人数
	会場	事業の概要			
	予算規模				
プレオープン展 コレクション+ からだ語る	アーツ主催	2013/7/4-9/1	36日	7,581人	210.6人
	G1	グランドオープンに先駆けて小規模な展覧会を実施した。身体表現をテーマに、人物が描かれた前橋市の収蔵作品に加えて、前橋出身のアーティストを紹介した。			
	?千円				
開館記念展 カゼイロノハナ 未来への対話	アーツ主催	2013/10/26-1/26	73日	26,536人	363.5人
	全館	開館記念展として地域にゆかりのある美術作家、文学者、音楽家や科学者などの幅広い分野の新作や、地域ゆかりのある風景を描写した収蔵品等を展示。			
	?千円				
高校生とつくる展覧会 ぷるぷる不発弾	アーツ主催	2014/2/8-2/16	6日	878人	146.3人
	G1	「地域とアート」をテーマに、この地域の未来の担い手となる高校生と一緒にワークショップを通じて展覧会を作った。			
	?千円				
Art Meets 01 津上みゆき／狩野哲郎	アーツ主催	2014/3/8-6/10	80日	16,170人	202.1人
	G1	中堅作家2名を紹介する展覧会シリーズ「Art Meets」の第1回を開催。			
	?千円				
白川昌生 ダダ、ダダ、ダ 地域に生きる想像☆ の力	アーツ主催	2014/3/15-6/15	80日	3,124人	39.1人
	地下	1970年にフランス、ドイツに滞在し、1983年の帰国以来、群馬にアトリエを構え、活動をつづける白川昌生の個展を開催した。			
	?千円				
プレイヤーズ 遊びからはじまるア ート展	アーツ主催	2014/7/5-9/15	63日	5,686人	90.3人
	地下	子供の頃の「遊び」を通して生まれた発想や、手で作った体験から現在のクリエイティブな活動につなげているアーティスト・クリエイター8組を紹介。			
	?千円				
地域アートプロジェ クト報告会〈磯部湯 活用プロジェクト〉 伊藤存、幸田千依	アーツ主催	2014/7/5-9/28	74日	12,908人	174.4人
	G1	2013年に地域アートプロジェクトの一環として、閉業した銭湯で実施した〈磯部湯活用プロジェクト〉で制作した作品を展示。			
	?千円				

服の記憶－私の服は誰のもの？	アーツ主催	2014/10/10－1/13	76日	4,231人	55.7人
	全館	「衣」をテーマに、美術作家や写真家、ファッションデザイナーやクリエイターなど5名4ブランドや地域に伝わる歌舞伎衣裳を展示。			
	?千円				
音色を奏でる絵画たち 県内コレクションで巡る近代絵画の歩み	アーツ主催	2015/1/24－3/10	40日	3,498人	87.5人
	G1+地下一部	前橋市所蔵作品のみならず高崎市美術館、大川美術館、県内個人コレクションの作品群の中から視覚や聴覚へ訴えかけるような色彩豊かな作品を中心に展示。			
	?千円				
小泉明郎 捕らわれた声は静寂の夢を見る	アーツ主催	2015/3/21－6/7	68日	3,224人	47.4人
	地下	映像作品を制作する群馬県出身のアーティスト、小泉明郎の初の大規模個展。			
	?千円				
Art Meets 02 大西伸明／相川勝	アーツ主催	2015/3/21－6/7	68日	3,980人	58.5人
	G1	中堅作家を紹介する定例事業の2回目。			
	?千円				
新収蔵作品展	アーツ主催	2015/6/18－7/26	34日	1,843人	54.2人
	G1	2013年の開館以降、購入や寄贈によって新規に収蔵した19作家96作品の中から未紹介作品を中心に展示。			
	?千円				
2015年NHK大河ドラマ特別展「花燃ゆ」 ／萩焼展	市等共催	2015/8/1－9/6	32日	5,048人	158.0人
	地下	2015年NHK大河ドラマ特別展「花燃ゆ」は、ドラマゆかりの歴史資料から主人公・杉文や吉田松陰、群馬県初代県令となった楢取素彦ゆかりの資料を展示。			
	39,112千円				
コレクション＋うちとそと	アーツ主催	2015/8/1－9/6	32日	6,049人	189.0人
	G1	さまざまな切り口やテーマで収蔵品を展示する「コレクション＋」シリーズ。			
	1,729千円				
ここに棲む－地域社会へのまなざし	アーツ主催	2015/10/9－1/12	77日	6,083人	79.0人
	全館	近年の社会の変化や地域との結びつきを14組の建築家とアーティストの様々な活動や実践から考える展覧会。			
	18,164千円				

平成 28 年 第 50 回 記念展 前橋市民展	実行委員会	2016/1/28-3/1	18 日	4,006 人	222.6 人
	全館	市民の芸術文化の復興を目的として、昭和 42 年に第 1 回の展覧会が開催され、50 回目をアーツを会場に開催。			
	他課予算				
田中青坪 永遠のモダンボーイ	アーツ主催	2016/3/19-5/17	52 日	3,622 人	67.7 人
	地下	大正、昭和と日本美術院を中心に活躍した、前橋市生まれの日本画家・田中青坪の初の回顧展。			
	13,008 千円				
Art Meets 03 石塚まこ／康(吉田) 夏奈	アーツ主催	2016/3/19-5/31	64 日	4,725 人	73.8 人
	G1	中堅作家を紹介する定例事業の 3 回目。			
	3,086 千円				
新収蔵作品展 2016	アーツ主催	2016/6/19-7/12	30 日	1,601 人	53.4 人
	G1	新たに収蔵した作品を紹介する展覧会。			
	818 千円				
表現の森 協働としてのアート	実行委員会	2016/7/22-9/25	57 日	3,841 人	67.4 人
	地下	アートが、福祉、教育、医療のような異なる現場に入っていくことで生まれる対話や交流に着目し、社会課題に対してアート／美術館の役割について考える展覧会。			
	7,913 千円				
コレクション+ 行為と痕跡	アーツ主催	2016/7/22-9/25	57 日	5,141 人	90.2 人
	G1	収蔵作品とともに地域ゆかりの作家を紹介するシリーズ。			
	4,902 千円				
フードスケープ わたしたちは食べものでできている	アーツ主催	2016/10/21-1/17	71 日	5,292 人	74.5 人
	全館	「衣食住」をテーマとした展覧会の第 3 弾として、本展覧会は食べることの未来をアーティストの表現を通じて一緒に考えた。			
	24,749 千円				
前橋の美術 2017 ～多様な美との対話～	実行委員会	2017/2/3-2/26	21 日	4,661 人	222.0 人
	全館	実行委員会を設立し、地域ゆかりのアーティスト、クリエイター 48 人を集めて開催された、アーツ前橋では初の市民企画展覧会。			
	2,151 千円				
加藤アキラ 孤高のブリコロール	アーツ主催	2017/3/18-5/30	65 日	3,190 人	49.1 人
	地下	群馬を離れることなく現在まで創作活動を続けている加藤アキラの個展。			
	8,897 千円				

Art Meets 04 田幡浩一／三宅沙織	アーツ主催	2017/3/18－5/30	65 日	4,141 人	63.7 人
	G1	中堅作家 2 名を紹介する定例事業。			
	1,812 千円				
コレクション展 新収蔵作品を中心に	アーツ主催	2017/6/15－9/26	90 日	5,247 人	58.3 人
	G1	開館以前から収蔵している作品や、新たに収蔵した作品を紹介する展覧会。			
	781 千円				
コレクション＋ アートの秘密 私と出会う 5 つのア プローチ	アーツ主催	2017/7/21－9/26	59 日	2,476 人	42.0 人
	地下	収蔵作品とともに地域ゆかりの作家を紹介するシリーズ。			
	5,946 千円				
ヒツクリコ ガツク リコ ことばの生まれる場 所	アーツ、文学 館主催	2017/10/20－1/16	70 日	7,774 人	111.1 人
	全館	「ことば」をテーマに前橋文学との初めての共同企画展を開催。			
	25,331 千円				
彼女たちのまなざ し：アーツ前橋所蔵 作品から	アーツ主催	2018/2/2－3/4	27 日	2,606 人	96.5 人
	全館	所蔵作品の中から、群馬ゆかりの作家の絵画作品に描かれた女性の姿や、現代女性作家による作品を紹介。			
	810 千円				
横堀角次郎と仲間た ち 草土社の細密画から 郷里赤城山の風景ま で	アーツ主催	2018/3/17－5/29	64 日	3,649 人	57.0 人
	地下	本市ゆかりの洋画家・横堀角次郎の個展。			
	12,787 千円				
Art Meets 05 菊池敏正／馬場恵	アーツ主催	2018/3/17－5/29	64 日	4,770 人	74.5 人
	G1	中堅作家 2 名を紹介する定例事業。			
	1,538 千円				
時をつなぐ アーツ前橋所蔵作品 から	アーツ主催	2018/6/14－9/18	84 日	5,115 人	60.9 人
	G1	新たに収蔵された作品、近年前橋市が収蔵した美術品を取り上げる。			
	619 千円				
横浜美術館コレクシ ョン 昭和の肖像 写真で たどる「昭和」の人と 歴史	巡回展	2018/7/6－9/3	52 日	3,093 人	59.5 人
	地下	横浜美術館が開催した「昭和の肖像－写真でたどる昭和の人と歴史」展をベースに、アーツ前橋のギャラリーに合わせた展示を共同企画。			
	8,127 千円				

岡本太郎と『今日の芸術』絵はすべての人が創るもの	実行委員会	2018/10/5-1/14	81日	22,863人	282.3人
	全館 21,897千円	『今日の芸術』から読み取れる岡本の思想を検証するとともに、活動の軌跡をさまざまな作品や資料によって紹介する。			
近藤嘉男と憧れのヨーロッパ航路	アーツ主催	2019/2/2-3/24	44日	4,608人	104.7人
	G1 617千円	近藤の絵画作品だけでなく、彼が遺したスクラップブックや写真も合わせて展示。			
闇に刻む光 アジアの木版画運動 1930s-2010s	他館等との共催	2019/2/2-3/24	44日	3,500人	79.5人
	地下 10,688千円	1930年代から近年までに制作された東南アジアの社会運動と結びついた木版画を紹介し、新しいアジア近現代美術史の視点を提供。			
身体と記憶 アーツ前橋所蔵作品から	アーツ主催	2019/4/19-7/9	71日	4,981人	70.2人
	G1 270千円	「身体と記憶」という切り口から、これまでのさまざまな収蔵作品を紹介。			
やなぎみわ展 神話機械	巡回展	2019/4/19-6/23	57日	3,605人	63.2人
	地下 13,488千円	1990年代から現在に至るまで、現代美術のみならず演劇界でも活躍している美術家やなぎみわの約10年ぶりの大規模個展。			
Art Meets 06 門馬美喜／やんツー	アーツ主催	2019/7/19-9/16	52日	2,415人	46.4人
	地下 3,423千円	中堅作家2名を紹介する定例事業。			
山本高之とアーツ前橋のビヨンド 20XX 未来を考えるための教室	アーツ主催	2019/7/19-9/16	52日	3,531人	67.9人
	G1 4,993千円	アーティストと学芸員が「美術」を通じた学びとは何かを議論し、これからの「美術／美術館」の役割について展覧会を通して考察。			
表現の生態系 世界との関係をつくりかえる	アーツ主催	2019/10/12-1/13	75日	5,398人	72.0人
	全館 19,152千円	現代社会において分断されている生の全体性を「表現」を通じてつなぎ直すような試みを行う展覧会。			
前橋美術 2020-トナリのビジュッー	実行委員会	2020/2/8-3/3	23日	2,904人	126.3人
	全館 3,300千円	市民企画展として、アーツ前橋の展示に加え、街なか数か所でも展示。			

廣瀬智央 地球はレモンのよう に青い	アーツ主催	2020/6/1-7/26	48日	6,448人	134.3人
	地下 15,861千円	イタリアを拠点に活動を続ける廣瀬智央による、日本国内の美術館では20年ぶりの個展を開催。			
糸の記憶 アーツ前橋所蔵作品 から	アーツ主催	2020/6/1-10/13	116日	8,179人	70.5人
	G1、後半地 下一部 3,705千円	前期展示では、さまざまな人物を描いた近代の絵画作品による表現やアーツ前橋の初代ユニフォームと2代目ユニフォームを制作過程とともに紹介。後期展示では、生糸や絹、養蚕にまつわる表現を紹介。			
場所の記憶 想起する力	アーツ主催	2020/10/22-3/21	124日	4,387人	35.4人
	G1、地下一 部 上記に含む	美術家たちが「場所」の現在や過去をそれぞれの感性によって表現した作品を紹介。			
聴くー共鳴する世界	アーツ主催	2020/10/12-3/21	79日	2,405人	30.4人
	地下 14,823千円	「聴く」という行為を通して世界と関わることを実践している芸術作品を紹介し、「聴く」ことの実践にどのような創造性があるのかというテーマについての探求を試みた。			
新収蔵作品展 2021 ー2019・2020 年度収 蔵作品よりー	アーツ主催	2021/7/22-10/31	88日	3,231人	36.7人
	G1 1,339千円	近年の収蔵作品の中から未公開の作品を中心に、絵画、彫刻、写真、映像などの多様な作品をⅠ期(2020年度収蔵)、Ⅱ期(2021年度収蔵)の2部構成で展示。			
生の軌跡ーTraces of Lifeー	アーツ主催	2021/11/13-3/6	91日	3,006人	33.0人
	全館 3,338千円	収蔵作品を中心に、地域ゆかりの作家の作品や県内の美術館、コレクターの所蔵作品とともに8つの章で構成し「軌跡」をテーマに絵画、写真、映像、立体、インスタレーションなどの多彩な作品を紹介。			
境界線、そして交差 する点へーアーツ前 橋コレクションから 考えるコスモポリタ ニズムー	アーツ主催	2022/4/29-7/18	70日	2,999人	42.8人
	G1 856千円	古来より芸術家にとって近しい関係にあった〈旅／移動〉をテーマとしたコレクション展。			
Art Meets 07 後藤朋美／田村尚子	アーツ主催	2022/8/6-10/31	74日	3,920人	53.0人
	G1 3,302千円	中堅作家2名を紹介する定例事業。			

萩原朔太郎大全 2022「朔太郎と写真」	アーツ主催	2022/11/19-3/5	86日	4,516人	52.5人
	G1 487千円	「萩原朔太郎大全」の参加企画として、朔太郎自身が撮った前橋を中心とする風景写真や、朔太郎の詩や写真などに触発されて制作された写真作品を紹介。			
潜在景色	アーツ主催	2022/11/19-3/5	86日	3,145人	36.6人
	地下 14,136千円	6名の写真家が写真の见えないものをとらえる力に着目し、前橋をはじめとする群馬全域、さらに広域にわたるエリアを作家それぞれが独自の視点でとらえ、多様な手法を用いて表現した最新作を含めて構成。			